



沼津西ロータリークラブ週報



2013～2014 年度
第 23 巻 5 号
2013 年 8 月 1 日

**ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を**

● クラブテーマ ●
ロータリーで魅力的で豊かな人生を

■■ 本日のプログラム ■■
クラブフォーラム① 会員増強維持委員会

例会場：ニューウェルナンピア沼津 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Email●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 1053 例会 会長挨拶◆◆

本村文一 会長

みなさんこんにちは。8月が始まりました。8月を葉月と呼びます。葉月の由来は木の葉が紅葉して落ちる月「葉落ち月」であるという説が有力ですが、稲の穂が張る「穂張り月」という説や、雁が初めて来る「初来月（はつきづき）」という説、南方からの台風が多く来る「南風月（はえづき）」という説などがあります。

ロータリーでは8月は会員増強拡大月間となっています。本日は7月7日に草薙で行われました地区会員増強維持研修セミナーの報告を渡辺さんにして頂きます。草薙では会員増強は最終的には会長が責任を持つとの意見がありました。私も痛く同調します。

それでは新会員の勧誘に対するクラブ会長としての責務はどのようなものでしょうか？クラブ会長要覧によれば、

- ①新会員を自ら勧誘することで模範を示し、他の会員にも同じように取り組んでもらう。
- ②行動力と知識を備えた会員増強委員を指名する。
- ③意欲的かつ達成可能な会員勧誘の目標を設定する。
- ④効果的な勧誘の重要性をテーマとしたクラブ協議会を実施する。
- ⑤地域の多様性を最大限に反映したクラブづくりを奨励する。
- ⑥友人、家族、同僚にロータリーについて話し、資格ある候補者に入会を勧めるよう会員に奨励する。
- ⑦クラブとその活動について地域の人々に広く知ってもらう。
- ⑧新会員を推薦したクラブ会員を表彰する。

とあります。当クラブは、すでに2人の新会員に入ってもらいましたが、さらに増強していきたいと思っております。新会員の候補者、ロータリーに興味を持っ

ている方は実は沢山いると思います。その人に出会えば自ずと会員は増えていくでしょう。そのためにはどうすればいいか？出来るだけ多くの人に会い、声をかける。ただ会える人数は限られています。またロータリーの認知度も必要です。認知度をあげることも会員増強につながります。皆さんも常に会員増強を心掛けて声をかけていただけたらと思います。待っている人もいるでしょう。以上会長挨拶とさせていただきます。

8月のプログラム

- 1054回 18:30 ニューウェルナンピア沼津 納涼例会
08月08日(木) クラブ運営管理委員会 夜間例会
- 1055回 12:30 ニューウェルナンピア沼津 クラブ協議会②
08月20日(木) 片岡アシスタントガバナー期首訪問
- 1056回 12:30 ニューウェルナンピア沼津 インターアクトクラブ 年
08月28日(木) 次大会報告 加藤学園高校

9月のプログラム

- 1057回 12:30 ニューウェルナンピア沼津 クラブフォーラム②
09月05日(木) 奉仕プロジェクト委員会
- 1058回 12:30 沼津市商工会 鮎の放流
09月12日(木) 奉仕プロジェクト委員会 理事会②
- 1059回 18:30 ニューウェルナンピア沼津 地区財団セミナー報
09月19日(木) 告 ローター財団委員会 夜間例会
- 1060回 12:30 ニューウェルナンピア沼津 インジェクションスピーチ
09月26日(木) 土屋昌之君 上野祥行君

クラブ管理運営委員会

★出席報告 (会員総数22名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1053回	21名	21名	-	100.00%
1051回	21名	14名	5名	90.48%

●欠席者 (0名)

●他クラブへの出席者

会 長	本村文一	幹 事	芹澤貞治
広報委員長	杉山真一	編 集 者	久松 但

●スマイル報告

1. 成田みちよ：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 重光 純：入会記念日のお祝いありがとうございます。
3. 本村文一：会員増強維持委員会様、クラブフォーラムよろしくお祈りします。
4. 本村文一：伊縫さん、花火、ありがとうございます。
5. 鈴木良則：来週の納涼例会を欠席させていただきます。
6. 杉山真一：本村会長、前回の例会で本年度のテーマバッジありがとうございます。
7. 宮島賢次：出席表彰、ありがとうございます。
8. 名古屋良輔：出席表彰、ありがとうございます。
9. 本村文一：MBテーブル、2次会の残金です。
10. 芹澤和子：MBテーブル残金です。
11. 成田みちよ：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津RC

- ・8月16日(金)裁量休会 メイクアップの受付はいたしません。
- ・8月23日(金)→22日(木)夜間例会・家族納涼会

2. 報告・連絡事項

- ①本日、理事会があります。理事の方は宜しくお祈りします。
- ②8月のロータリーレートは、1ドル=100円です。
- ③次週は、夜間例会、家族納涼例会となります。

理事会報告

1. 報告事項

なし。

2. 協議事項

- ①9月度プログラムの件 クラブ管理運営委員長 芹澤和子君 承認する。
- ②9.10月度座席 SAA井上武雄君
・誕生月別とする。
- ③4クラブ合同例会(10/11(金))会費の件
・会費を例会食事代金を差し引いた金額、会員より徴収する。
- ④クラブ定款第9条改正の件
・定款条項に基づき、規定審議会の改正内容を反映させ、今年度の年次計画書に掲載する。
- ⑤地区ロータリー財団セミナーの件 9/8(日)
・本村会長と大村委員長が出席し、登録料と交通費実費を支給する。
- ⑥地区インターアクト年次大会の交通費支給の件
・加藤学園IAC顧問教諭に対し、交通費を支給する。

クラブフォーラム①

地区会員増強・維持研修セミナー参加報告



委員長代理出席者 渡辺亀一 君

会場は静岡市内の静清信用金庫研修センターでの開催でした。開会点鐘後に、志田ガバナー挨拶、内容はガバナーエレクト研修セミナーに出席した様子、そして、その中での会員増強・維持について、RI会長の言葉を紹介しながらガバナー自身の思いを熱心に伝えておりました。「会員は、ただ増やせでは無く、値打ちのある人が入ってこなければクラブにとっての将来を維持していく事にはならない」という様なことでした。つづいて講演では、多田宏(神田RC)前第二ゾーン アシスタント・ロータリー・コーディネーターを講師に開かれまして、やはり数でなく質を強調していました。



会員増強維持委員長 宮口雅仁

クラブの会員基盤を築くには、入会候補者を探し出すと同時に、現会員を維持する必要があります。新会員が入会することで、新鮮なアイデアや新しいエネルギーがもたらされます。一方、現会員はクラブの意義ある活動を続けていくために欠かせない存在です。委員は、会員の友人や家族、仕事関係の知り合い、地域の人々に声をかけ、入会を勧めるよう会員に奨励すべきとされています。会員増強活動の中でも、特に会員維持活動は重要です。会員に十分な情報を提供し、積極的な活動を促し、貢献を称え、感謝することで、会員の満足度が高まります。

昨年同様、予算は変わりませんので会員増強委員会として新しい特別な事は出来ませんが、継続が大切と思い、今年も例会時に会員候補者を皆さんに呼んで頂き開催したいと思っています。



沼津西ロータリークラブ週報



2013～2014 年度
第 23 巻 6 号
2013 年 8 月 8 日

**ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を**

● クラブテーマ ●
ロータリーで魅力的で豊かな人生を

■■ 本日のプログラム ■■
納涼例会 クラブ管理運営委員会

例会場：ニューウェルソニア沼津 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Email●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 1054 例会 会長挨拶◆◆

本村文一 会長

みなさんこんばんは。今日は、納涼家族例会となっています。新年度になって初めての家族例会です。多くの会員の家族の皆様に参加していただいております。家族の皆様には日ごろロータリー活動に御理解と御協力をいただきまことにありがとうございます。今年も宜しく願いいたします。今日は家族で楽しいひと時をおすごしください。

さて「納涼」とは炎暑の候に暑さを避けることをいいます。似た言葉で「避暑」がありますが、これは夏の盛りの暑さを避けるために、涼しく過ごしやすい気候の土地に一時的に移動することをいいます。またそうした土地を避暑地といえます。夏でも涼しい避暑地は、標高が高い山岳や高原、風通しが良い峡谷や溪谷、水遊びができる湖や溪流、あるいは緯度が高い土地となります。避暑地に移動することで暑さはある程度回避できるのに対し、納涼を味わうことは必ずしも暑さからの解放を約束するものではありません。むしろ納涼とは、夏に避暑地に移動できない者が、体を冷やすものを飲み食いしたり（暑気払い）、工夫を凝らして人口的に涼しさを創り出したり（納涼船）、鳥肌が立つような演出をしたり（怪談や花火）して「涼しさ」を味わうことにより、暑さを「忘れる」ことをいいます。いうなれば「忘暑会」でしょうか？現在では、納涼会は夏にやる飲み会という意味のことが多くなったようです。

本日はクラブ管理運営委員会がバーベキューや花火など納涼らしさを演出していただきます。夏の暑さをひと時でも忘れ、楽しくひと時を過ごしましょう。以上会長挨拶とさせていただきます。

8月のプログラム

- 1055回 12:30 ニューウェルソニア沼津 クラブ協議会②
08月20日(木) 片岡アシスタントガバナー期首訪問
- 1056回 12:30 ニューウェルソニア沼津 インターアクトクラブ年
08月28日(木) 次大会報告 加藤学園高校

9月のプログラム

- 1057回 12:30 ニューウェルソニア沼津 クラブフォーラム②
09月05日(木) 奉仕プロジェクト委員会
- 1058回 12:30 沼津市商工会 鮎の放流
09月12日(木) 奉仕プロジェクト委員会 理事会④
- 1059回 18:30 ニューウェルソニア沼津 地区財団セミナー
09月19日(木) 告ロータリー財団委員会 夜間例会
- 1060回 12:30 ニューウェルソニア沼津 インシエーションスピーチ
09月26日(木) 土屋昌之君 上野祥行君

クラブ管理運営委員会

★出席報告 (会員総数22名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1054回	21名	17名	-	80.95%
1052回	21名	19名	1名	95.24%

●欠席者 (4名)

久松 但、重光 純、鈴木良則、渡邊亀一

●他クラブへの出席者

久松但 (8/2沼津RC) 伊縫文哉、重光純、渡邊亀一
(8/5沼津柿田川RC) 井上武雄 (8/6沼津北RC)

●スマイル報告

1. 本村文一：会員家族のみなさま、ようこそ、いらっしゃいました。
2. 本村文一：本日は、クラブ管理運営委員会のみなさま、よろしく申し上げます。
3. 芹澤貞治：家族の皆様、いらっしゃいませ、楽しんで下さい。クラブ管理運営委員会の皆様、御苦勞様でした。

会 長	本村文一	幹 事	芹澤貞治
広報委員長	杉山真一	編 集 者	久松 但

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①御殿場R・C

8月15日(木)休会

②吉原R・C

9月19日(木)観月会於:大富士ゴルフ場 18:00～
Muは11:30～12:30まで、ホワイトパレスフロントにて行います。

2. 報告・連絡事項

①次週は裁量休会です。

②9月12日の鮎の放流の出欠席を記入して下さい。



臨時理事会報告

1. 協議事項

①会員候補者の推薦の件 ⇒承認

納涼例会

本年も、ニューウェルサンピア沼津の野外にて家族を招いて屋外にてバーベキューを行いました。

新入会員の家族にも参加していただき、ビンゴや花火大会を行って大変楽しい納涼例会でした。



司会は尾島康夫君



開会のあいさつは宮口雅仁君



乾杯は、宮島賢次君



閉会のあいさつは名古屋良輔君

----- 7月分出席一覧 -----

久松 (④)	井上 (3, 1)	伊縫 (2, 1)	栗原 (④)	宮島 (④) +1	宮口 (④)	本村 (④) +2
名古屋 (3, 1)	成田 (1)	大村 (1)	尾島 (3)	芹澤貞(④)+1	芹澤和 (④)	重光 (3, 1)
杉山真 (④)	鈴木博 (④)	鈴木良 (3, 1)	田村 (④)	土屋 (3)	植松 (④)	上野 (④)
渡邊 (3, 1)						
				例会出席% 85.88 %	地区報告% 92.94 %	

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を

2013 ～2014 年度
第 23 卷 7 号
2013 年 8 月 22 日

● クラブテーマ ●
ロータリーで魅力的で豊かな人生を

■■ 本日のプログラム ■■
クラブ協議会② 片岡アシスタントがバナー期首訪問

例会場：ニューウェルサンプピア沼津 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Email●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆ 第1055 例会 会長挨拶 ◆◆

本村文一会長

みなさんこんにちは。本日は第3分区アシスタントガバナーの片岡様と事務局の小林様が期首訪問でいらっしゃっています。後ほどお話を宜しく願います。

さて毎日うだるような暑さに襲われていますが一方猛烈な豪雨に襲われている地域もあります。

7月28日に島根、山口県で豪雨が起きました。「これまで経験したことがないような大雨。直ちに命を守る行動をとってほしい」と気象庁が最大級の警戒を呼びかけたことは記憶に新しいことです。これは8月30日に運用を始める予定であった「特別警報」であり「50年に1度」クラスの災害であることを意味します。この豪雨で鉄橋が流され線路が寸断され道路も寸断され各地で住民が孤立しました。また多数の民家が床上床下浸水しました。

8月9日には今度は秋田、岩手県で集中豪雨がおき、土石流や土砂崩れ、国道の冠水で新幹線の代替のバスや車が立ち往生しました。

これらの豪雨の原因として気象庁はバックビルディング現象があったと見ています。湿った風は上昇気流に乗り積乱雲が発生します。通常の積乱雲は雨を降らせると消えてしましますが、風上側の同じ場所で次々と積乱雲が発生して風に流されるとビルの背後に別のビルが並ぶように積乱雲が1列に並んでしまいます。このように次々と積乱雲が発生する現象をバックビルディング現象と呼んでいます。通常の積乱雲はきわめて局地的現象でそのエネルギーはせいぜい一時間程の間に20～30ミリ程度の雨を降らせますがバックビルディング現象が起きると雲は長い時間消滅せず、100ミリ前後の膨大な雨を数時間にわたって持続的に降らせます。バックビルディン

グ現象は、いつどこで発生するのか予測できないといえます。このように積乱雲がおこす災害にゲリラ豪雨があります。突発的に発生し局地的に降る激しい豪雨のことで、長くても1時間、降る範囲は広くても10キロメートル四方ですが都市の中小河川が急に増水して崖崩れや土石流を発生させます。都市のヒートアイランド現象が原因ともいわれます。

しかしこんなに文明の進んだ我々でも自然に対しては無力で、文字通り「嵐が過ぎるのを待つ」であります。あらためて自然の力の脅威を思い知らされます。ただ、その原因として地球温暖化が確実にあり、対策の必要性を考えさせられます。以上会長挨拶とさせていただきます。

8月のプログラム

1056回 12:30 ニューウェルサンプピア沼津 インターアクトクラブ 年次大会報告 加藤学園高校
08月28日(木)

9月のプログラム

1057回 12:30 ニューウェルサンプピア沼津 クラブフォーラム②
09月05日(木) 奉仕プロジェクト委員会

1058回 12:30 沼津市商工会 鮎の放流
09月12日(木) 奉仕プロジェクト委員会 理事会②

1059回 18:30 ニューウェルサンプピア沼津 地区財団セミナー報告
09月19日(木) ローター-財団委員会 夜間例会

1060回 12:30 ニューウェルサンプピア沼津 インジェクションビーチ
09月26日(木) 土屋昌之君 上野祥行君

クラブ管理運営委員会

★出席報告 (会員総数22名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1055回	22名	16名	-	72.73%
1053回	21名	21名	-	100.00%

会長	本村文一	幹事	芹澤貞治
広報委員長	杉山真一	編集者	久松 但

●ゲスト

1. 片岡博昌アシスタントガバナー：富士宮西RC
2. 小林陽益アシスタントガバナー事務局：富士宮西RC

●欠席者（6名）

久松 但、伊縫文哉、成田みちよ、尾島康夫、
重光 純、鈴木博行

●他クラブへの出席者

宮島賢次、鈴木良則（ 8/10 米山梅吉記念館）
久松但、鈴木博行（ 8/20 沼津北RC）

●スマイル報告

1. 名古屋輔：誕生日のお祝い有り難うございます。
2. 本村文一：アシスタントバガナー片岡様、事務局小林様、宜しくお願いします。
3. 芹澤貞治：片岡アシスタントガバナー、事務局小林様、宜しくお願いします。
4. 名古屋輔：夕日を浴びながら、お台場を62分間、走り続けました。
5. 鈴木良則：片岡アシスタントガバナー、本日は、宜しくお願いします。

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津柿田川 RC

9月9日（月）→夜間例会
9月16日（月）→祝日休会
9月23日（月）→祝日休会
MUは、9日のみです。

②富士宮西R・C

8月23日（金）→ 24日（土）富士山環境保全活動に振替え

2. 報告・連絡事項

- ①次週は加藤学園インターアクトクラブの生徒の卓話です。ペットボトルのキャップがございましたら、持参願います。

クラブ協議会②

1. 静岡第3分区アシスタントガバナー 片岡博昌

猛暑が続き体調は、如何お過ごしでしょうか。私の町でも、8月は毎年2つのお祭りがあり、富士山文化遺産の認定もあって、登山客がどっと増えました。自然保護を忘れないで頂きたいものです。静岡第3分区のアシスタントガバナーに富士宮西ロータリークラブから選任された、



片岡博昌と申します。一年間宜しくお願い申しあげます。

ロータリー入会以来、貴クラブは、私には想いで深いクラブで、親しみを持っています。

1998年、平成10年1月25日鈴木良則分区代理のIMをホストさせて頂きました時の副実行委員長でした。富士宮西は1990創立で、ロータリーの西も東もわからないクラブ（富士宮西）がホストで、鈴木さんは本当に心配をなさったと思います。講演内容や大卒のポイントは実行委員長とクラブ会長が鈴木さんにお話し、ご相談したと思いますが後の実行、実務は任せるからなどと言われた、でも、いい勉強になりました。鈴木さんにご相談すれば、毎回答えは、「好きにやって下さいよ」で、ほんとに自由にさせて頂きました、そして、クラブの全員が持ち場に没頭していました。お邪魔している、小林君も当日、ぎりぎりまで頑張ってくれました。（明日実行日というときに沼津木材市場に行きましたら、余裕だねと驚かれた植松さんを思い出します）そんな訳で、今、私はIMに関しては、鈴木さんを見習っているところです。

私はクラブ創立3年目に幹事、3年後に会長をしました、（1992年に幹事、95年に（18年前）当時は真剣で、真面目でした。正式な事務方が居なかったので間違いも多かったと思います、だけど、どこからも非難、苦情は有りませんでしたね、ロータリアンてありがたいです。沼津西クラブさんには事務方はいらっしゃいましたか（1997年大久保さん）？

（名簿、人頭分担金、半期報告、規定審議会の費用の1ドル。また職業分類の変更もやりました。）

2005年に2度目IMを実行してから後に、いろいろ有りまして、休みが多くなりました、半年ぐらい休会したこともありましたが、その後も欠席が多く、2008年あたりまでは進退も考え、迷いましたが、そんな時に私を、見捨てずに、引っ張ってくれたのがロータリーでした。大変、クラブには感謝をしています。で、今ここに立たされている訳は、その時、クラブに迷惑かけた分を、お礼奉公をせよと言う訳でございます。やっぱり断れなかったです。

鈴木さんの時の演題は「地球に愛を」富士宮グランドホテルでした。2005年IMは、ロータリー創立100年を祝おうでしたか。私の書いた年次計画書の挨拶を見ましたら、「ロータリー成果を祝うと共に、現在の困難に、新たな危機感を持って祝おう」と書いてありましたので、自分の気持ちと同じように、ロータリーも大変な時だったんだと思い返しています、しかし、それなら、今も変わらないと思った次第です。その時の講演は、高橋堯昭さんの「祝おう100年、学ぼう原点」。大好評でした。

本村会長さんの年次計画書にございます、「原点に戻る」ことは大切だと思います、特に、今年度は歴史を紐解く必要な年だと思っています、色々チェンジの多い年度ですから、私も大賛成です。今あるロータリーと、その原点を色々な角度から考える必要がある年度かなと思います。考えてみますとこの、2005年あたりから、新しい風として、CLPの採用が言われた頃だった訳です。しかし、そんな訳で残念ですが、CLPの事を、をよく覚えていません。本質さえ外れなければ、それに、時代の流も考えて、必要なら、いいじゃないかと、そんな程度の知識で居ました。今でも進歩してませんが。ロータリー目的達成の為の手段が大きく変わった年度だと思いました。

アシスタントガバナー研修中に、地区の会合に出席した時など、私語が沢山聞こえてきます、関心がありましたので、聞き耳を立てていますと、年期の入った、お年をめした、多分会長さんか、アシスタントガバナーさんが、職業奉仕がどうの、ロータリー情報がどうの、とかCLPなどの言葉が聞こえまして、後悔先にたたずでした。前置きが長くなりました。私は、ただただ、ロンバートンRI会長と志田ガバナーのメッセージをお伝えに伺った次第でございます。

ガバナーの代理として、大変な仕事を任されていますが、私の様な者をご指名を受けて、第3分区の皆さんには申し訳なく思っています。間違えが多々あると思いますが、訂正して下さい。改めて、お教え頂きたいと思います。其のうちこれが終わったらそのうちゆっくり勉強して、立派なパスト・アシスタント・ガバナーになりたいと思っていますけど。

さて志田洪頭ガバナーはロン・バートンRI会長の Engage Rotary Change Lives [ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を]のテーマを地区の運営のテーマといたしました。したがって会長の国際協議会のお話しをして、RIと地区の情報をクラブに提供せよと、指導されていますので少しお話させて頂きます。

ロン・バートンRI会長は「ガバナーの課題は、まず、ロータリーとは何か、ロータリーはどんな可能性を持っているのか、3番目にロータリアンであることの榮譽を実感出来るよう、手助けをすること、この三つを課題として挙げました。

いよいよポリオ撲滅の時が来ています。そして新しい時代が始まる「未来の夢計画」をロータリー財団と協力して、ガバナーはクラブを援助するよう呼びかけました。志田ガバナーも善意の寄付を活用することをお願いしています。次年度（岡本年度）の計画を早く決めるようにお伝えをしておきます。簡

単な手続きだそうです。是非お使い頂きたいと思えます（9月8日に財団セミナーに出席）。会員増強に触れ、会長自身も、誘われたから入会したんだよ。入会をおねがいすることが大事。要するに、行動を起こさなければだめだと言っています。又、女性会員や若い会員をふやすためなら、クラブの古い習わしは変えて、時代にあわせる努力も必要で、規則を変えても良いと述べ、この様に、時代の変化に合わせて、自分たちも努力をしなければ、ダメですと語り、「増強は全ロータリアンの責任」で、そして、入会した、新会員をロータリーに積極的に参加させてください。

以上の様に、ロータリアンが深く係れば。又、積極的になれば、人々の人生を豊かにすることが出来るロータリーの未来のために私たちが出来ることは、この様に、すべてのロータリアンがロータリー奉仕活動に積極的に参加して（engage）、会員自身、自己を、最大に生かせるように支援をすること（change lives）、そして、ロータリーを実践すれば、一番豊かになるのは、皆さんご自身の人生だということをと強調。

国際協議会の会場はマンチェスター・グランド・ハイアット・サンディエゴ・ホテルの熱気と感動、緊張の中で会長は「ロータリーの奉仕の発展を心から願うならば、今、ここにいる私たちが抱いているのと同じ気持ちを、すべてのロータリアンに抱いてもらわなければなりません。

ロータリアンが、ロータリーの役割を果たし、その貢献が認められなければ意味は無いのですから、認められるようにしてください、と述べました。この協議会に先立って、ロンバートン会長エレクトは次期ガバナー全員に財団に寄付を行うよう求めましたところ。その結果全537地区のガバナーエレクトからが集まりました。会長は「お願いしなければ集まらなかったではないかなと言って、すなわち、「誰かに何かをしてもらいたいとき」、相手が気づくまで待つのではなく、「お願いする」方が理に適っていると。先ほど言いましたが、現に、私は高校の時にキワニスにいたので当然キワニアンになると思っていました、オクラホマ州のロータリークラブから誘いを受けたから入会したと語りました。

志田ガバナーは協議会から大きな感動をお持ちになって帰られ、私達に熱く語られました。そして、「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」のテーマをシェルドンの「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」につなげ、この一年を実践し、人生に変化を与え、新しいページを加えたいと「新年度に向けての挨拶」の中で信条をお書きになっておられます。よく志田ガバナーは多様性と変化 チェ

ンジを語ります。

多様性・・・いろいろなクラブが有って良い、構成、職業分類、年齢、個人の信条、皆それぞれ違います、それがいいのです、私が思うに「ロータリーの価値観」、そして「ブランド意識」をしっかりと持ってさえいればいいと思います。そしてロータリーを実践して頂きたいと、この様なことだと思えます。チェンジ・・・色々あると存じますが、基本理念を外れなければ、新しいことにも挑戦して下さい、私は、変化こそ、進歩だと取りました。

規定審議会に出された「立法案採決結果」を頂きましたが、見てないので、其のうちにと思っています。そして協議会、初日、第一回本会議。（ロータリーとは何か）、中核的価値観です。ガバナーは5つの中核的価値観について論議するよう、提唱しています。（奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ）；ロータリーの主体をなすことであります。新しいことでは無く、今まで有り、私たちが日常用いている「ロータリーの目的」と「四つのテスト」にも反映されていることが多くあり、それにクラブサポート、強化・人道的奉仕の重点化と増加・公共的イメージと認知性の向上が加わって、「基本理念」が「戦略計画」になったと解釈。

この、RI戦略計画はロータリーの進べき道を、示している指針であり、重要なものとなっています。沼津西クラブさんもCLPを採用されていますが、CLPを考案なさったのは、ロンバートン現会長でした。LDT委員会、つまり（Leadership Development Training. Committee）リーダーシップ・デベロップメント・トレーニング・コミティ、リーダーシップ研修開発委員会と言うのでしょうか、RI元理事でLDT委員会元委員長のロンバートンさん

今度、知ったことですが、委員会の構成はほとんどのクラブがCLPでした。

先ほどの何処かの会長さんのつぶやきにも、有りましたが、職業奉仕の精神的な事とか、CLPとの関連について、先ほどの「原点」と合わせて、クラブ内でも意見交換の必要性を感じました。あくまでも、RI会長も志田ガバナーも、ロータリーの土台は変わっていません。中核的価値観がロータリーを定義づけるものです、とはっきり言っています。ロータリーが、専門職務に携わる人の間に世界的な親睦をつくることのできたのは、寛容の精神のおかげです、1910～1911年ポールハリスは本の中で、親睦

（fellowship）も奉仕（service）もそれらを繋ぎ止めているものは寛容の精神と言っています。互いの欠点を我慢しあう、許容しあうことの大切さ、この精神は、委員会の名前を変えても、今も変わらない

と思っています。今年度の「ロータリーの再生」の意気込み」をご理解頂ければ、有りがたいと思います。

簡単ですが時間も来ましたので 以上で挨拶といたしますが皆さんと、ロータリーバッチを付けていて、良かった、と言える一年、ロータリーモメントを皆さんと語れる、一年にしたいと思っています。宜しくおねがいます。



2. クラブ協議会報告 幹事 芹澤貞治

静岡第3分区アシスタントガバナー片岡様の期首訪問に合せ、今年度2回目のクラブ協議会の報告をさせていただきます。



まず、通常例会の中で、片岡AGの挨拶を頂きました。RI会長ロン・D・バートンの今年度のRI テーマや志田ガバナーの方針等の話、又、会員増強については自身のロータリー活動を交えて、待っていてもダメ、声を掛け、又、頼まなければ実は実らないとの事でした。

協議会は場所を替え、ほぼ出席会員全員の参加にて格調ある会となったと思います。会長の挨拶、そして幹事の進行で、クラブ管理運営委員会より、今年度の活動を発表、最後に片岡様より総評して頂き、特に、ロータリーは“職業奉仕を強調してもらいたい”との事、そして、米山に対して近隣のクラブは協力をする。又、インターアクトクラブに対しての指導や付き合い方等の適切なアドバイスを頂き、会員皆、納得した意義ある協議会となりました。改めて、片岡AGに御礼を申し上げます。又、AG事務局の小林様にも長時間の間お付き合いを頂き、御礼申し上げます。

簡単ではありますが、報告とさせていただきます。



沼津西ロータリークラブ週報



2013～2014 年度
第 23 巻 8 号
2013 年 8 月 29 日

**ロータリーを 実践し
みんなに 豊かな人生を**

● クラブテーマ ●
ロータリーで魅力的で豊かな人生を

■■ 本日のプログラム ■■
インターアクトクラブ 年次大会報告 加藤学園高校

例会場：ニューウェルソニア沼津 例会日：毎週木曜日
12:30点鐘 (第三木曜日-18:30)
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Email●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 1056 例会 会長挨拶◆◆

本村文一 会長

みなさん、こんにちは。本日は加藤学園インターアクトクラブ（以下IAC）の皆さんがいらっやっています。後ほど報告を伺います。

さてIACとは、奉仕と国際理解に貢献する青少年のためのロータリークラブ（以下RC）提唱の世界的団体です。高校に在学中の生徒、または12から18歳までの青少年が入会できます。インターアクトとは「国際的活動International Action」を意味します。2012年12月30日現在、世界で15,275クラブ、会員数351,325人、日本では571クラブ、会員数13,133人となっております。

IACが誕生したのは1962年10月28日アメリカのフロリダ州のメルボルン高校でした。日本初のIACは1963年6月27日宮城県の仙台育英学園高校でした。2010年の手続要覧によると、IACの目的は奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を青少年に与えるために結成されるとあります。その目標は①建設的な指導力を養成し、自己の完成を図る。②他人に対する思いやりと他人の力になる心構えを奨励しこれを実践する。③家庭と家族の重要性に対する認識を涵養する。④個人の価値を認める考え方に立脚して他人の権利を尊重する観念を養う。⑤個人的成功のためにも地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも各人が責任を負うことがその基本であると強調する。⑥すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとしてその品位と価値を認識する。⑦地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供する。⑧国際理解と全人類に対する善意を増進するために個人としてまた団体として進むべき道を切り開くこととあります。

それではRCはIACとどう関わればいいのでしょうか？1992年の規定審議会における社会奉仕に関する声明で「各種社会奉仕活動を秩序立てるためにRCが提唱するIAC、ローターアクトクラブ、ロータリー地域社会共

同体、その他のグループと緊密に協力すること」と提唱されたように共に活動することが望まれています。またRCはIACの支援にあたり次の方策を実施すべきとされています。①IACの成長と継続性を維持するためその活動を奨励する。②IACと提唱RC間の関係を強める。③ロータリーについての情報をIACに伝えその後も生涯を通じてロータリーに関心を持ってもらうようにする。④IACが年齢制限によりインターアクトプログラムに参加不可能となったり移転したりする場合は地元のローターアクトクラブや他のIACを紹介する。⑤地区全域のIACが参加する奉仕プロジェクトを立ち上げるため各IACと相談する。⑥RC例会や地区の会合でIACの活動についてプレゼンテーションするように依頼する。⑦クラブおよび地区レベルでインターアクト活動に関与しているロータリアンの貢献を称えとあります。これからも共同事業を通してますますお互いのクラブが発展していくことを希望します。以上会長挨拶とさせていただきます。

9月のプログラム

1057回	12:30	ニューウェルソニア沼津	クラブフォーラム②
09月05日(木)		奉仕プロジェクト委員会	
1058回	12:30	沼津市商工会	鮎の放流
09月12日(木)		奉仕プロジェクト委員会	理事会②
1059回	18:30	ニューウェルソニア沼津	地区財団セミナー報告
09月19日(木)		ローター財団委員会	夜間例会
1060回	12:30	ニューウェルソニア沼津	インシエーションスピーチ
09月26日(木)		土屋昌之君	上野祥行君

クラブ管理運営委員会

★出席報告（会員総数22名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1056回	21名	18名	-	85.71%
1054回	21名	17名	4名	100.00%

会長	本村文一	幹事	芹澤貞治
広報委員長	杉山真一	編集者	久松但

●ゲスト

1. 松本英教様：加藤学園高等学校 I A C 顧問
2. 西島拓斗様：加藤学園高等学校 I A C 会長
3. 後藤健太郎様：加藤学園高等学校 I A C 幹事

●ビジター

1. 山本倫弘様：沼津北 R C
2. 奈良橋篤様：沼津北 R C
3. 土屋敏博様：沼津北 R C

●欠席者 (3名)

名古屋良輔、尾島康夫、成田みちよ

●他クラブへの出席者

久松但、鈴木良則 (8/24 米山梅吉記念館)、
名古屋良輔 (8/25 eCLUB ONE)、
植松正、土屋昌之、上野祥行 (8/27 沼津北RC)

●スマイル報告

1. 井上武雄：入会記念日のお祝い有難うございます。
2. 本村文一：インターアクトクラブのみなさん、ようこそいらっしゃいました。
3. 芹澤貞治：加藤学園松本先生、インターアクトクラブの皆様、いらっしゃいませ。
4. 鈴木良則：加藤学園インターアクトクラブの皆さん、ようこそ、いらっしゃいました。
5. 芹澤和子：インターアクトの皆様、よろしくお祈りします。24時間テレビで募金活動みました。
6. 栗原侑男：奉仕プロジェクト委員会小委員会をやります。委員の方、よろしくお祈りします。
7. 宮口雅仁：所用につき、早退させていただきます。
8. 重光 純：所用につき、早退させていただきます。

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更等

①富士宮 R C

9月16日(月) → 祭日休会、9月23日(月) → 祭日休会
9月30日(月) → 観月例会 於：朝霧ジャンボリー

2. 報告・連絡事項

- ①9月のロータリーレートは、1ドル=100円です。
- ②R I 事務局より、今年度の世界のロータリーの事務所、例会場、会長・幹事等の資料が届きました。

第40回インターアクト年次大会報告

加藤学園高等学校

インターアクトクラブ

顧問 松本英教

今年度のインターアクト年次

大会は8月10日(土)・11日(日)に

甲府市立甲府商業高等学校・山梨県立愛宕山少年自然の家で行われ、本校から4名(西島・大久保・北條・後藤)の生徒が参加させていただきました。

まず1日目は、中国の沙漠に木を植えるという壮大なプロジェクトに尽力した遠山正瑛という方の活動についてお聞きしたり、アメリカに交換留学へ行ってきた高校生から、実際に体験して得られたことを話していただいたりしました。また当日の甲府市の気温が40.7度ということもあり、2日目には予定していた



エンターリングは中止になり、リサイクルキャンドルの製作をさせていただきました。

2日間を通じて、他校の生徒とも和気あいあいと話している生徒達の姿を目にして、参加して本当によかったと思います。ここで得たことをこれからの活動に活かし、加藤学園高等学校インターアクトクラブをさらに発展させていきたいと思っています。顧問も含め、今回も参加させていただき、本当にありがとうございました。

加藤学園高等学校

インターアクトクラブ

部長 西島拓斗



今回、年次大会に参加させていただき、ありがとうございました。2日間を通じて様々なお話を聞くことができ、また、日頃できないような体験をすることができました。その中で私が最も有意義であったと思うことは、他の高校のインターアクトクラブの活動を知ることができたことと、多くの他校の生徒との交流がはかれたことです。

一日目の全体会の最後に各校の活動を報告する時間がありました。他校の活動内容は、私達とは別の視点から行われているものも多く、自分達の活動の改善点が見つかるとともに、今後の参考になる事がかなり含まれていました。そして、初めて会った人達と一緒に部屋に宿泊したりして、最初はぎこちない部分もありましたが、二日目にはかなり打ち解けて、いろんな話をする事ができました。このようなことは年次大会に参加していなければ、なかなか機会のないことで、大変貴重な経験でした。このような経験を今後の活動に役立てていきたいです。ありがとうございました。

加藤学園高等学校

インターアクトクラブ

幹事 後藤健太郎



先日行われたインターアクト第40回年次大会では多数の高校が集まり、お互いの親睦を深めました。山梨は40度を超える暑さでしたが、暑さに負けずに頑張ってきました。

1日目は甲府市立甲府商業高校商友館で色々なことを知りました。沙漠に緑を植えたことや、その時の困難についてなどです。世界には貧しい国や沙漠化が進行して困っている人達がいて、自分にも何かできないかということを考えていました。その後愛宕山少年自然の家へ移動して、そこでは他校の人と同じ班になり、行動を共にしました。愛宕山から望む甲府の夜景はとても綺麗で、昼間からは信じられないほど涼しかったです。

2日目はスコアオリエンテーリングが気温の関係でできなくなり、リサイクルキャンドル作りを行いました。私は年次大会を通じて、いろんな人と友達になることができ、少しではありますが、山梨の文化や雰囲気に触れることができ、よい経験になりました。ありがとうございました。